

## 「問題提起」と「一般一実は」

評論文というものは、著者が「自分はこんな発見をした。」「みんなこう思つてゐるけれど、実はこうなんだよ。」ということをアピールするものだ。そして**自分で問い合わせ立てそれを明らかにする**形式をとつてゐる。

現代文の授業では**問題提起**、「一般—実は作示されることが多い。それらをまとめてみよう。」として示してきたり、それらは**顯示語**で示されることが多い。それらをまとめてみよう。

1 問題提起

問題提起は疑問、質問形式で示される。

①なぜ、失われたものが両腕で無ければならないのか？（手の変幻）

そしてその答言がその後述へ繰れる

②世界との、他人との、あるいは自己との、千変万化する交渉の手段なのである。

分で知つてゐることを疑問形にして  
① そ

自分で知つていいことを疑問形にして(①)、それに自分で答える(②)というスタイルである。これはもちろん読者に興味を引かせるためである。初めから答えを書いてしまつたら、誰も興味を持たない。他の用例も見てみよう。

③第一に、これらの出来事が文化現象なのだろうか、といった問題である。 ←

⑤衣服の選択が社会化されているとは具体的にはどういうことなのか、ここで考えてみたい。

式<sup>(5)</sup>「衣服という社会」の用例では、一問一答形式での「答え」がない。なぜなら、<sup>(5)</sup>はこの文章全体の問題提起だからだ。<sup>(5)</sup>の「ここ」の指示語の指すところは、「この文章全体」だつたことを思ふ出しだすべて欲しい。この場合「答え」は「以降の文章全体の主張」だつたりする。」であつたり、

このように、疑問、質問形式で示された「問題提起」のアピールを受け取ることで、著者が何を話題にしたがつているのかということを押さえることができる。また、その主張（「答え」）が必ずあるので、それを見つけることで著者の述べたことを正確につかむことができる。

2 一般—実は

いちばんウケる文章は「みんなはそう思つて  
るけれど実は違うんだよ、こうなんだよ。」といい  
うものだ。ここで驚きが起り、文章も読まれる  
ようになる。著者はそれを狙う。その形式が「一  
般—実は作文」なのだ。

⑥ **私たち**はしばしば混乱したり不安になつたりするから、自分を導いてくれる「正解」が欲しくなる。「自分は無で、向こう側に真理がある」と感じて、真理を教えてもらいたいと思う。でも本当は、混乱したり不安になつたりしながら何かを求めている自分、そこからしか出発できなないし、その自分を丁寧に見つめることしか、できない。(考える楽しみ)

⑦ **一般的には**、人類の道具使用は武器使用から始まつたとする見解が強いが、どうもそのようには考えにくいのである。むしろ、食物獲得の問題に基盤をおいている、と考える方が妥当なようだ。(道具と文化)

何⑧ところが、衣服をめぐる問題の難しさは、何を着るかなどという、一見個人の自由に属するような事柄を実際には個人が一人で決められなくなつてゐることに起因する。

こうみると、どれも「普通はこう考えるが、実はこうだ。」「ちよつと考えるとこうだけれど、よく考えるとこうだ。」というパターンになつていることがわかる。次のような表現で「一般—実は」を表している。

むしろ実は  
ところが

一般的な見方、どちらえ方を否定する

自分の言いたいことを肯定する

問題提起の「答え」、「一般—実は」の「実は」の部分を見つけ出せれば、著者の主張は押さえられるということだ。

「問題提起」と「一般一実は」に注意して、各段落ごとに「主張」をノートにまとめていこう。

## 妖怪と現代社会

① **たしかに**、現代の夜の東京で、彼の平井東を闊歩していたといふ。曲鬼がわの群衆を見た者はいなかつ。東京のど真ん中で下泣かせたことがない。その意味では、鬼も、妖怪キツネも、そして現実世界は出現するときはいたゞ妖怪に会つたという話はなく、多くの妖怪は消え去つてしまつた。

**しかしながら**、まことに興味深いことは、現代においても、妖怪たちは生き続け、また、新たに生まれているわけ。

**たしかに**、現代の夜の東京で、妖怪に会つたという話はなく、多くの妖怪は消え去つてしまつた。**しかしながら**、現代においても、妖怪たちは生き続け、また、新たに生まれている。

省けるところは省いて、骨格を書こう！

② 妖怪文化には、現実世界に出没すると語られるレベルでの妖怪と、物語作者たちの想像力によつて生み出されたフィクションのレベルでの妖怪とがある。

③ 現代の科学文明の発達・浸透とともに消滅すると思えた妖怪が、一闇（ひらぎな）が、都会ではなくなつてしまつたのに、どうしてなのか。妖怪の温床の（のぞみば）のだろうか。妖怪は発生し得るからである。現代社会にも妖怪を想像する力を持つた人間がたくさんいるからである。

※これらの例を参考に書きを書いていくこと。「問題提起」・「一般一実は」の形式でなくとも、これは書きとめてまとめておくべきということはぜひ書いておくこと。

※教科書の文章をそのまま写すのではなく、著者の主張の骨格を書くようにしよう。しかし、削除しすぎてもとの意味と変わらるようではいけない。

フリーースペース  
(自分でまとめたことなどをしていく)  
に對する新たな疑問、  
いかつたことなどを書く

どうやってどこ  
に生きている  
の？